

JATA17-19
2017年7月10日

「2017年6月期(第1回) 旅行市場動向調査」

一般社団法人 日本旅行業協会 (JATA) では、JATA会員各社および中連協会員各社へ調査モニターへの登録を依頼し、登録のあった614社を対象として、四半期ごとに「旅行市場動向調査」を実施しております。今回、6月期の調査がまとまりましたのでお知らせします。

●海外旅行DIは、3月期(-28)より8ポイント上昇し-20

※業態別では全体的に好調で、中でもネット系旅行会社は3月期より回復

※ヨーロッパは回復基調、韓国は大幅な下落が目立つ。

※顧客層別では、商用・視察、インセンティブが上昇し回復傾向。学生、教育旅行は下落

○3ヶ月後の見通しは、1ポイント下降し-21へ。

※ハワイは5ポイント上昇、アメリカ・カナダは3ポイント上昇し回復傾向を推移

●国内旅行DIは、3月期(-14)より16ポイント上昇し+2

※業態別では国内旅行ホールセラーは大きく下落が目立つ。

※北海道、九州は大幅に上昇、東北も回復傾向。

※団体旅行・個人旅行ともに上昇傾向

○3ヶ月後の見通しは、4ポイント下降し-2へ。

※北海道は上昇が続きマイナスからプラスへ回復。東北も上昇を推移。

※職場は14ポイント減、教育は13ポイント減で下落を推移

●訪日旅行DIは、3月期(-7)より9ポイント上昇し+2

※沖縄、九州はともに上昇し回復傾向であるが、北海道は大幅に需要が減少。

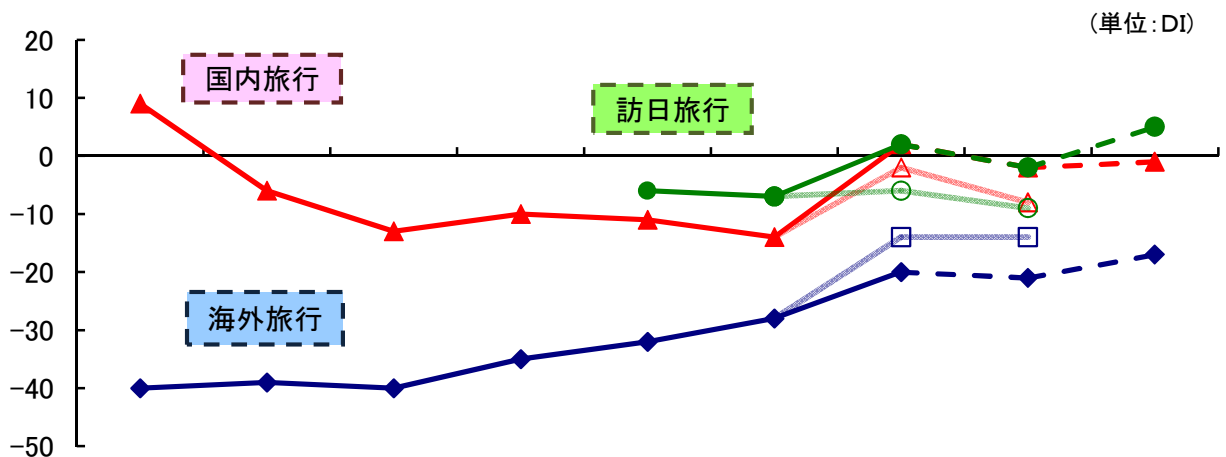
※顧客種別では団体、MICE、FIT全て上昇

※出身国では北米は25ポイント増で大きな回復が目立つ。

○3ヶ月後の見通しは、4ポイント下降し-2へ

※北海道は9ポイント増の回復で推移。東北は3ポイント増で緩やかに回復

※出身国では台湾は上位ではあるが7ポイント減で下落。



	1年半前 (10~12月)	1年 3カ月前 (1~3月)	1年前 (4~6月)	9カ月前 (7~9月)	6カ月前 (10~12月)	3カ月前 (1~3月)	現況 (4~6月)	3カ月後 (7~9月)	6カ月後 (10~12月)
海外旅行全般	-40	-39	-40	-35	-32	-28	-20 ※-14	-21 ※-14	-17
国内旅行全般	9	-6	-13	-10	-11	-14	2 ※-2	-2 ※-8	-1
訪日旅行全般	-	-	-	-	-6	-7	2 ※-6	-2 ※-9	5

※2017年3月期調査見通し数値

■旅行市場動向調査について

一般社団法人 日本旅行業協会（JATA）では、JATA会員および中連協会員各社へ調査モニターへの登録を依頼し、会員1621社中、登録のあった614社を対象として、四半期ごとに「旅行市場動向調査」を実施し、その結果を発表しております。

「旅行市場動向調査」は、現況・先行き（3ヵ月後）についてのアンケートを実施し、旅行市場の動向を把握することを目的としております。

調査では各質問事項に対し「良い」「普通」「悪い」「取り扱っていない」で評価を求め、回答数から「取り扱っていない」（無回答を含む）の回答を除いたものを母数として各回答のシェアを算出し、「良い」を選んだ割合（%）から「悪い」を選んだ割合（%）を引いて、「D I」（=Diffusion Index ディフュージョン・インデックス）という景気動向指数に加工して発表しています。D I 値の範囲は、全て良い（100）から、全て悪い（-100）の間の評価となります。

◆調査概要

調査地域	： 全国
調査対象	： J A T A 会員各社、中連協会員各社の経営者など
調査方法	： インターネット調査
調査期間	： 2017年5月22日（月）～6月12日（月）
設定数	： 614社
回収数	： 341社
回収率	： 55.5%

◆業態別区分について

「旅行市場動向調査」では、各業況を業態別に分析しています。
各業態の定義と今回調査での回答件数は下記の表の通りとなっています。

業態名	定義	社数	比率
総合旅行会社	全国にネットワークを持ち、全分野に商品を持つ大規模な旅行会社	39	11.4%
海外旅行ホールセラー	海外旅行を専業とするホールセラー会社	20	5.9%
海外旅行系旅行会社	旅行業の取扱額が50億円以上で、うち海外旅行の取扱額が80%以上の旅行会社	11	3.2%
国内旅行ホールセラー	国内旅行を専業とするホールセラー会社	9	2.6%
リテラー1	上記以外で旅行業の取扱額が30億円以上の旅行会社	25	7.3%
リテラー2	上記以外で旅行業の取扱額が30億円未満の旅行会社	143	41.9%
インハウス	親会社の業務渡航などを中心に行っている旅行会社	47	13.8%
ネット系旅行会社	上記以外でインターネット販売が中心である会社	10	2.9%
訪日旅行系旅行会社	上記以外で訪日旅行販売が中心である会社	37	10.9%

*ホールセラー … パッケージツアーの企画・販売を専門に行う旅行会社

この資料についてのお問い合わせは、JATA広報室までお願いします。
なお、本データはJATAホームページ <http://www.jata-net.or.jp> でご覧になれます。
TEL : (03)3592-1244

■海外旅行全般の業況について

現況は、3月期の見通しより低い、8ポイント上昇し-20へ。
業態別ではリテラー1、ネット系旅行会社が大きく回復。
ヨーロッパは回復傾向。韓国は下落が目立つ。インセンティブ、商用・視察は順調に回復へ。
学生、教育旅行は下落が目立つ。
3ヵ月後は大きく変動はせず、1ポイント下落し-21の近似値で推移

総合

見通し(-14)より低い、3ヶ月期より8ポイント上回って-20ポイントへ。業態別では全体的に好調で、特に総合旅行会社は25ポイント増、リテラー1は28ポイント増、ネット系旅行会社は34ポイントも上昇し回復が伺える。方面別ではヨーロッパは8ポイント増で最下位であった6ヶ月前より大幅に回復。アメリカ・カナダ4ポイント上昇し緩やかに回復。韓国は下落が止まらず24ポイント減。アジアは上位に位置するが2ポイント減少、ハワイも1ポイント減で近似値で推移。インセンティブは16ポイント上昇、商用・視察は12ポイント上昇。学生は12ポイント減、教育旅行は14ポイント減と下落が目立つ。

現況(4~6月) 3月期の見通しより低い回復傾向へ。ヨーロッパは回復傾向。韓国は下落が目立つ。

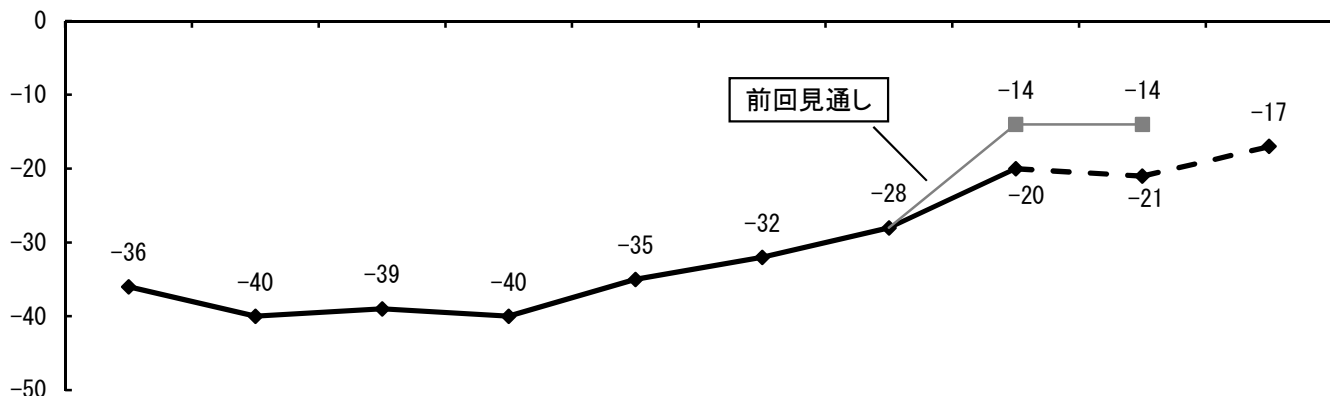
- ・ヨーロッパは市場回復傾向である一方、北米・南米が落ち込み (第1種/総合旅行会社)
- ・ミクロネシアへの日本人来島者数の減少、フライト減少 (第1種/海外旅行ホールセラー)
- ・ベトナム・シンガポール・台湾は人気あり。韓国の回復は鈍化 (第1種/リテラー1)

3ヵ月後、6ヵ月後の見通し 大きな変動はなく近似値で推移。アメリカ・カナダ、ハワイは回復を推移

- ・団体旅行は堅調だが、個人旅行は欧州、韓国などで受注が伸び悩んでいる。(第1種/総合旅行会社)
- ・北朝鮮問題とテロで全般的に悪く、特に団体の動きが悪く秋口まで影響 (第1種/海外旅行ホールセラー)
- ・ハワイやグアムは治安もよくパッケージ旅行の特典も多く伸びている (第2種/リテラー2)

N:有効回答数
(N=270)

(単位: D I)



2年前 (4~6月)	1年半前 (10~12月)	1年 3ヵ月前 (1~3月)	1年前 (4~6月)	9ヵ月前 (7~9月)	6ヵ月前 (10~12月)	3ヵ月前 (1~3月)	現況 (4~6月)	3ヵ月後 (7~9月)	6ヵ月後 (10~12月)
-36	-40	-39	-40	-35	-32	-28	-20	-21	-17
							※-14	※-14	

※2017年3月期調査見通し数値

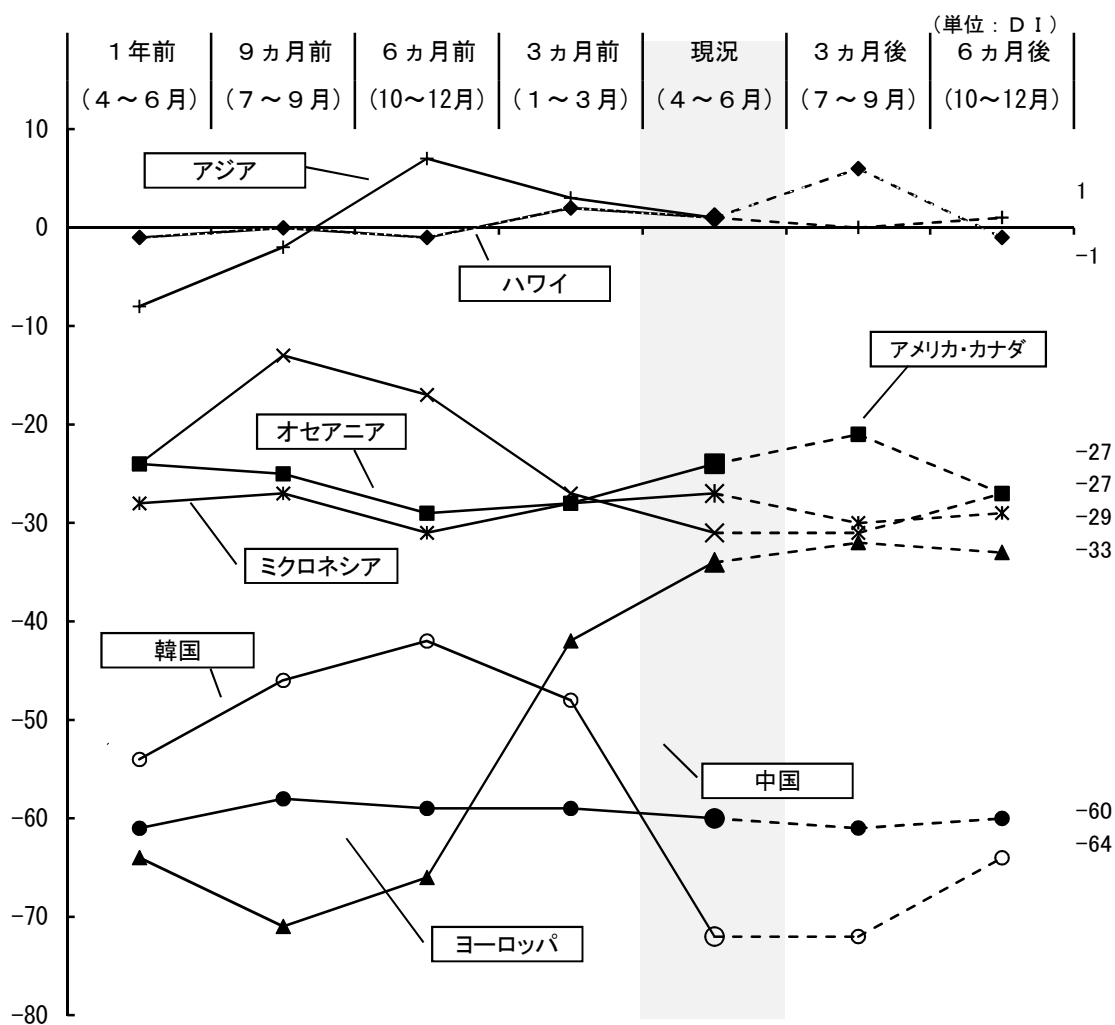
	1年半前 (10~12月)	1年 3ヵ月前 (1~3月)	1年前 (4~6月)	9ヵ月前 (7~9月)	6ヵ月前 (10~12月)	3ヵ月前 (1~3月)	現況 (4~6月)	3ヵ月後 (7~9月)	6ヵ月後 (10~12月)
総合旅行会社	-68	-71	-63	-49	-42	-14	11	5	0
海外旅行ホールセラー	-61	-53	-48	-44	-41	-40	-35	-20	-5
海外旅行系旅行会社	-6	-18	-6	-27	8	-16	-9	-27	18
リテラー1	-57	-39	-38	-40	-23	-19	9	0	0
リテラー2	-37	-36	-39	-33	-35	-37	-34	-30	-28
インハウス	-19	-22	-40	-25	-20	-17	-15	-24	-19
ネット系旅行会社	-	-	-50	-33	-50	-50	-16	-43	-33

◆海外旅行の需要動向（方面別）

**現況は、ヨーロッパが回復基調
ハワイ、アジアは大きな変動なく上位で推移。
アメリカ・カナダは緩やかに回復傾向。中国は低位で横ばい。韓国は大幅に下落**

- ・ 現況は3ヵ月前(1～3月)に比べ、ヨーロッパは8ポイント上昇し(-34)、最下位であった6ヶ月前より大幅に回復。ミクロネシアは1ポイント上昇し(-27)、中国も1ポイント減少し(-60)で3月期の数値と近似。アメリカ・カナダ4ポイント上昇し(-24)で緩やかに回復。韓国は下落が止まらず24ポイント減少し(-72)、アジアは上位に位置するが、2ポイント減の(0)、ハワイも1ポイント減少で(1)で推移。
- ・ 3ヵ月後(7～9月)は、韓国・中国の2方面は変わらず回復が遅れている。ハワイは5ポイント上昇し(6)、アメリカ・カナダは3ポイント上昇し(-21)、ヨーロッパで2ポイント上昇し(-32)で緩やかな回復が伺える。アジアは上位に位置するが1ポイント減少で(0)の近似で推移。ミクロネシアは3ポイント減少で(-30)、オセアニアは変化なく(-31)で維持。韓国・中国は低迷が目立つが、最終頁の主要旅行会社取り扱いをご参照ください。

N:有効回答数
(N=270)



(単位：D I)

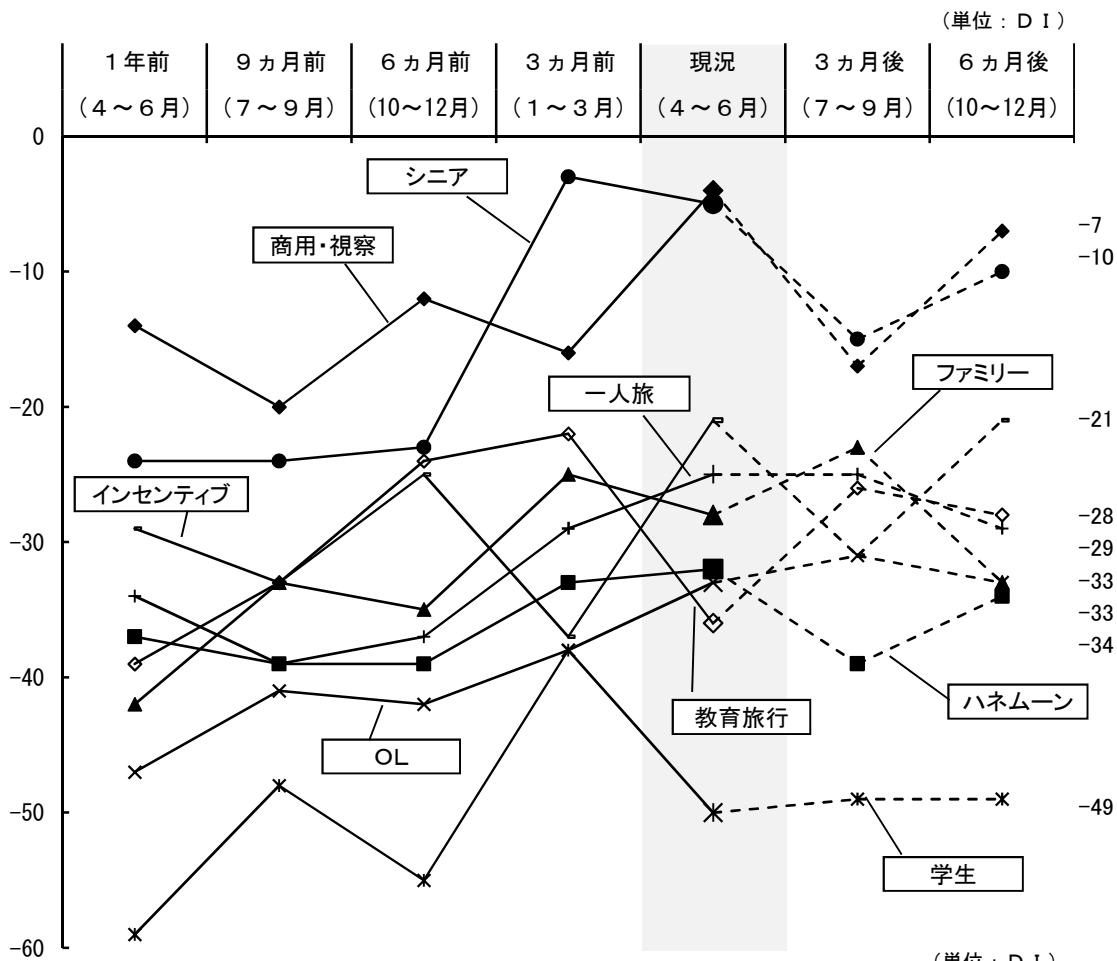
	1年前 (4～6月)	9ヵ月前 (7～9月)	6ヵ月前 (10～12月)	3ヵ月前 (1～3月)	現況 (4～6月)	3ヵ月後 (7～9月)	6ヵ月後 (10～12月)
ハワイ	-1	0	-1	2	1	6	-1
アメリカ・カナダ	-24	-25	-29	-28	-24	-21	-27
ヨーロッパ	-64	-71	-66	-42	-34	-32	-33
オセアニア	-24	-13	-17	-27	-31	-31	-27
ミクロネシア	-28	-27	-31	-28	-27	-30	-29
アジア	-8	-2	7	3	1	0	1
中国	-61	-58	-59	-59	-60	-61	-60
韓国	-54	-46	-42	-48	-72	-72	-64

◆海外旅行の需要動向（顧客層別）

**現況は、前回下落傾向が目立った商用・視察、インセンティブが上昇し回復。
教育旅行、学生は大きく下落し、OL、一人旅は緩やかに回復。
3ヵ月後は、教育旅行は回復を示すが、好調の商用・視察、インセンティブ、シニアも含め大きく下降傾向**

- ・ 現況は3ヵ月前（1～3月）に比べ、下落傾向にあったインセンティブは16ポイント増、商用・視察も12ポイント増と大きく回復が目立つ。OLは5ポイント増、一人旅は4ポイント増で上昇し回復傾向。教育旅行は14ポイント減、学生は12ポイント減で大きく下落が目立つ。シニア2ポイント減、ファミリーも3ポイント減とともに下落。ハネムーンは横ばいで推移。
- ・ 3ヵ月後（7～9月）は、教育旅行は10ポイント増と大きく回復。ファミリーも5ポイント増と上昇傾向。OLは2ポイント増、学生は1ポイント増、一人旅は大きな変動なく各客層とも横ばいで推移。順調であった商用・視察は13ポイント減、インセンティブも10ポイント減、シニアは10ポイント減、ハネムーンも7ポイント減と下落を推移。

N:有効回答数
(N=270)



(単位: DI)

	1年前 (4～6月)	9ヵ月前 (7～9月)	6ヵ月前 (10～12月)	3ヵ月前 (1～3月)	現況 (4～6月)	3ヵ月後 (7～9月)	6ヵ月後 (10～12月)
ハネムーン	-37	-39	-39	-33	-32	-39	-34
ファミリー	-42	-33	-35	-25	-28	-23	-33
OL	-47	-41	-42	-38	-33	-31	-33
学生(教育旅行を除く)	-59	-48	-55	-38	-50	-49	-49
シニア(60歳以上)	-24	-24	-23	-3	-5	-15	-10
一人旅	-34	-39	-37	-29	-25	-25	-29
インセンティブ(*)	-29	-33	-25	-37	-21	-31	-21
商用・視察	-14	-20	-12	-16	-4	-17	-7
教育旅行	-39	-33	-24	-22	-36	-26	-28

*「インセンティブ」:企業・団体等が従業員への報奨として提供する旅行

■国内旅行全般の業況について

現況は前期上回より16ポイント上昇し、1年半ぶりにマイナスからプラスへ上昇。
北海道、九州は大きく上昇、東北も前期より回復傾向。団体旅行、個人旅行とも上昇傾向。
3ヶ月後は、全体で4ポイント下降し-2へ、緩やかに減少を推移。

総合

業種別では、国内旅行ホールセラーは33ポイント減と下落が目立つが、その反面低位であるネット系旅行会社が24ポイント増で上昇傾向。方面別では全ての方面において回復傾向。特に北海道は21ポイント増、九州は18ポイント増と上昇し、東北は低位であるが16ポイント増で回復が目立つ。団体旅行の区分では、職場は25ポイント増、教育は17ポイント増、招待・報奨は16ポイント増、サークル・親睦は15ポイント増と続き全て回復傾向。個人旅行でも、OLは12ポイント増、一人旅は12ポイント増、シニアは4ポイント増、ファミリーは3ポイント増と全体的に上昇。

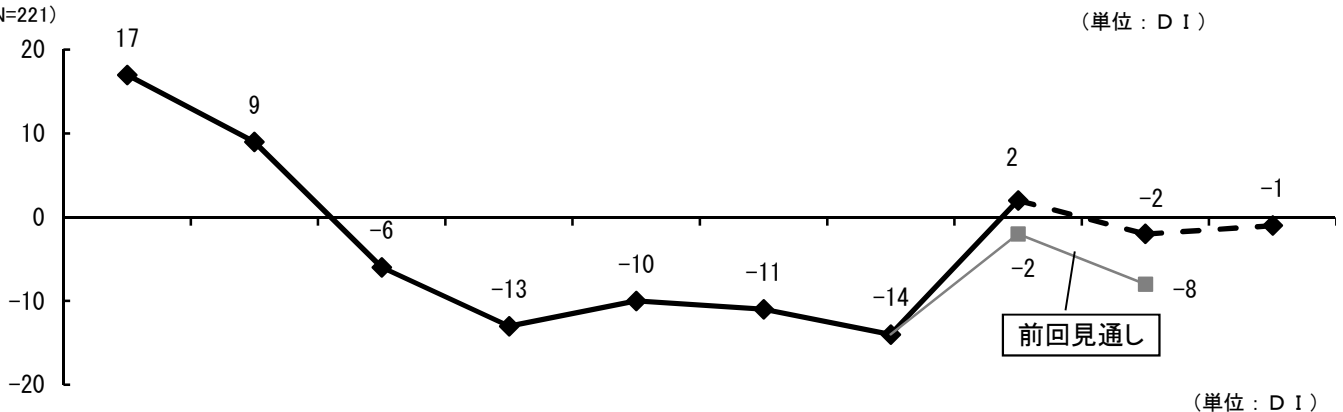
現況(4～6月) 北海道、九州は大幅に上昇し、団体・個人旅行ともに回復

- ・個人旅行は九州、沖縄が人気だが、団体旅行は方面が分散している。(第1種/総合旅行会社)
- ・GWも終了し、夏の繁忙期まで全体的に受注が鈍い。(第1種/国内旅行ホールセラー/普通)
- ・震災の裏年影響もあるが、九州の需要が回復傾向にある。(第1種/総合旅行会社)

3ヵ月後、6ヵ月後の見通し 北海道はさらに4ポイント増でマイナスからプラスへ推移。

- ・沖縄本島への旅行が比較的堅調(第1種/総合旅行会社)
- ・募集型企画旅行・手配旅行とも安・近・短が圧倒的。秋のシーズンも継続希望。(第1種/リテラー2)
- ・北海道の需要が顕著。間際の申し込みが増えている。(第3種/リテラー2)

N:有効回答数
(N=221)



2年前 (4～6月)	1年半前 (10～12月)	1年 3ヵ月前 (1～3月)	1年前 (4～6月)	9ヵ月前 (7～9月)	6ヵ月前 (10～12月)	3ヵ月前 (1～3月)	現況 (4～6月)	3ヵ月後 (7～9月)	6ヵ月後 (10～12月)
17	9	-6	-13	-10	-11	-14	2	-2	-1
							※-2	※-8	

※2017年3月期調査見通し数値

	1年半前 (10～12月)	1年 3ヵ月前 (1～3月)	1年前 (4～6月)	9ヵ月前 (7～9月)	6ヵ月前 (10～12月)	3ヵ月前 (1～3月)	現況 (4～6月)	3ヵ月後 (7～9月)	6ヵ月後 (10～12月)
総合旅行会社	11	4	-13	-13	-18	-19	18	6	3
国内旅行ホールセラー	-20	-83	-20	-28	-43	0	-33	-22	25
リテラー1	25	0	-34	-21	-39	-19	20	10	20
リテラー2	6	-7	-11	-9	-3	-16	5	-7	-7
インハウス	10	-2	-8	8	-5	7	-7	5	2
ネット系旅行会社	-	-	-33	-44	-33	-67	-43	-15	-43

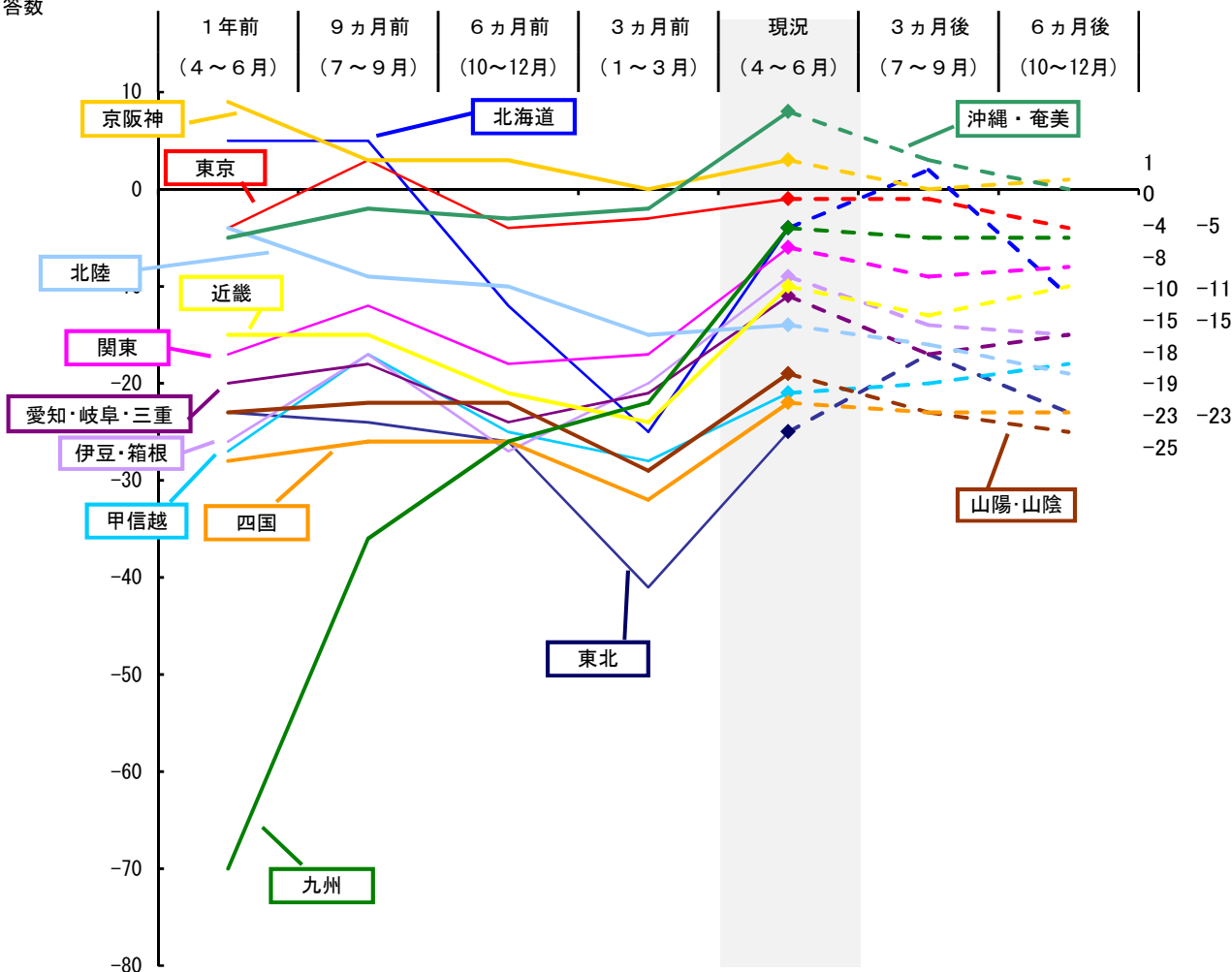
◆国内旅行の需要動向（方面別）

現況は全ての方面において上昇し、特に北海道、九州は大きく回復が伺える。
 東北も前期の落ち込みから回復。
 3ヶ月後も北海道は上昇が続きマイナスからプラスへ。東北も上昇を推移。

- ・ 現況は3ヶ月前(1～3月)に比べ、特に北海道は21ポイント増、九州は18ポイント増と上昇し、他方面と比べ回復が目立つ。東北は低位であるが16ポイント増と前期から大きく回復。近畿も14ポイント増が目立つ。伊豆・箱根は11ポイント増、関東は11ポイント増で他地域も同様に上昇傾向。
- ・ 3ヶ月後(7～9月)は、東北は8ポイント増で順調に回復。甲信越は1ポイント増、東京は横ばいで維持。伊豆・箱根は5ポイント減、愛知・岐阜・三重は6ポイント減、沖縄・奄美は5ポイント減。山陽・山陰は4ポイント減、関東は3ポイント減で、その他の地域も下降傾向で推移。

(単位：D I)

N:有効回答数
(N=221)



(単位：D I)

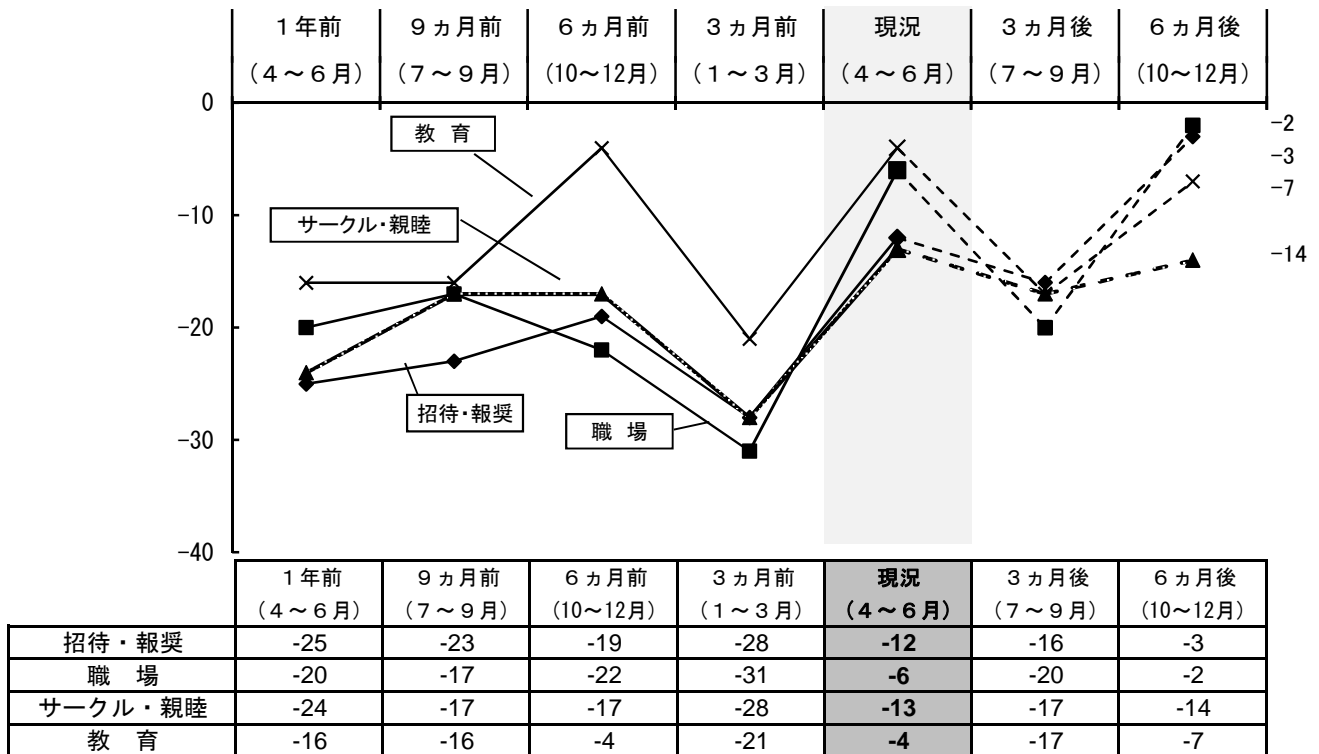
	1年前 (4～6月)	9ヶ月前 (7～9月)	6ヶ月前 (10～12月)	3ヶ月前 (1～3月)	現況 (4～6月)	3ヶ月後 (7～9月)	6ヶ月後 (10～12月)
北海道	5	5	-12	-25	-4	2	-11
東北	-23	-24	-26	-41	-25	-17	-23
東京(TDR・横浜を含む)	-4	3	-4	-3	-1	-1	-4
関東	-17	-12	-18	-17	-6	-9	-8
甲信越	-27	-17	-25	-28	-21	-20	-18
伊豆・箱根(静岡を含む)	-26	-17	-27	-20	-9	-14	-15
愛知・岐阜・三重	-20	-18	-24	-21	-11	-17	-15
北陸	-4	-9	-10	-15	-14	-16	-19
京阪神(京都・大阪・USJ)	9	3	3	0	3	0	1
近畿	-15	-15	-21	-24	-10	-13	-10
山陽・山陰	-23	-22	-22	-29	-19	-23	-25
四国	-28	-26	-26	-32	-22	-23	-23
九州	-70	-36	-26	-22	-4	-5	-5
沖縄・奄美	-5	-2	-3	-2	8	3	0

◆国内旅行の需要動向（団体旅行）

- ・ 現況は3ヵ月前(1～3月)に比べ、全ての区分で上昇。職場は25ポイント増、教育は17ポイント増、招待・報奨は16ポイント増、サークル・親睦は15ポイント増と続き上昇傾向を示した。
- ・ 3ヵ月後(7～9月)は、職場は14ポイント減、教育は13ポイント減、招待・報奨は4ポイント減、サークル・親睦は4ポイント減、全体的に減少を推移。

N:有効回答数
(N=221)

(単位: D I)

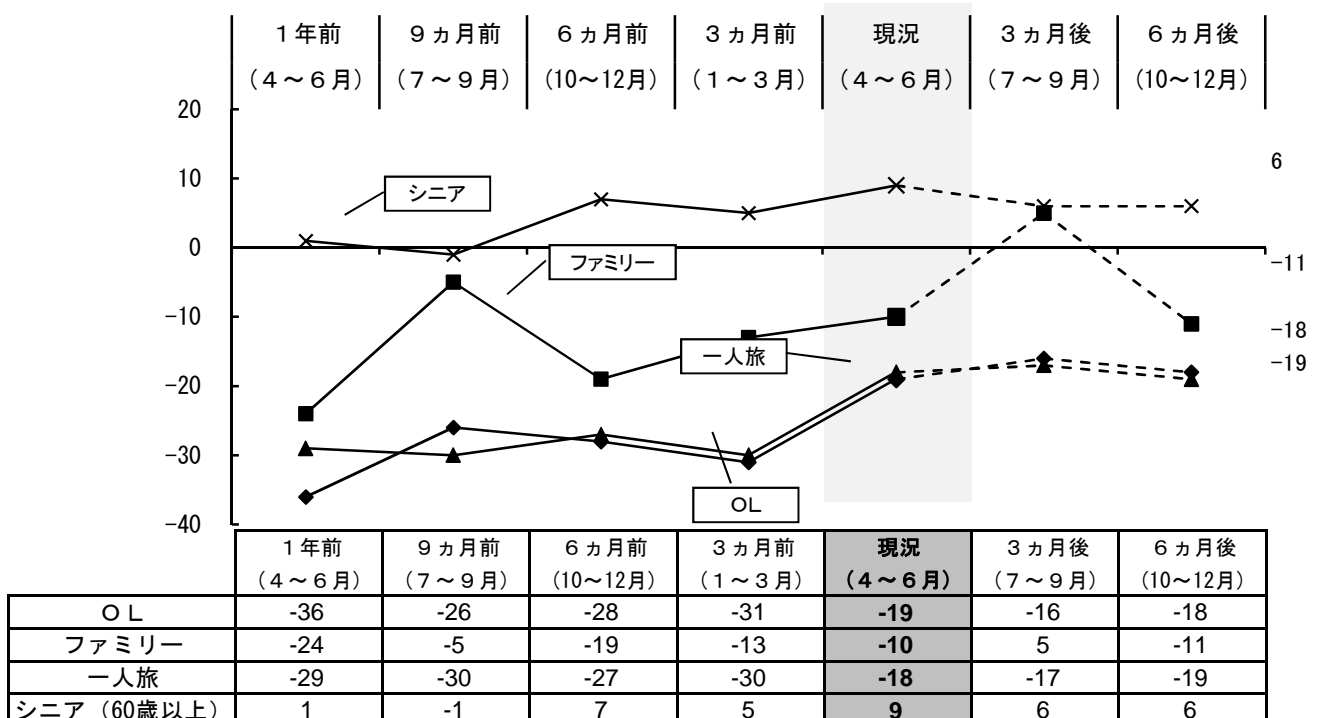


◆国内旅行の需要動向（個人観光旅行）

- ・ 現況は3ヵ月前(1～3月)に比べ、各客層とも上昇。OLは12ポイント増、一人旅は12ポイント増、シニアは4ポイント増、ファミリーは3ポイント増と上昇が続く。
- ・ 3ヵ月後(7～9月)は、ファミリーは15ポイント増でマイナスからプラスに推移。OLは3ポイント増、一人旅は1ポイント増と大きな変動なく推移。シニアは3ポイント減の下降を推移。

N:有効回答数
(N=221)

(単位: D I)



■訪日旅行全般の業況について

現況は3ヶ月前の見通し上回り、9ポイント上昇しマイナスからプラスへ回復。
 沖縄、九州方面の需要は上昇し回復傾向であるが、北海道は大幅に需要が減少。
 顧客種別では全体的に需要上昇。3ヶ月後は、4ポイント減少しプラスからマイナスへ下降を推移。

総合

業態別では、全体的な需要は上昇傾向する中、ネット系旅行会社は下落。方面別では沖縄は17ポイント増で上昇しマイナス2、九州も16ポイント増で上昇しマイナス16へ前期より回復。

北海道は20ポイント減と大幅に下落。顧客種別では全体的に需要は上昇傾向。出身国別では上位の台湾、東南アジアの訪日客需要はともに回復傾向、北米の需要も大きく回復したのが目立つ。

現況(4～6月) 沖縄、九州方面の需要は上昇し回復傾向であるが、北海道は大幅減少

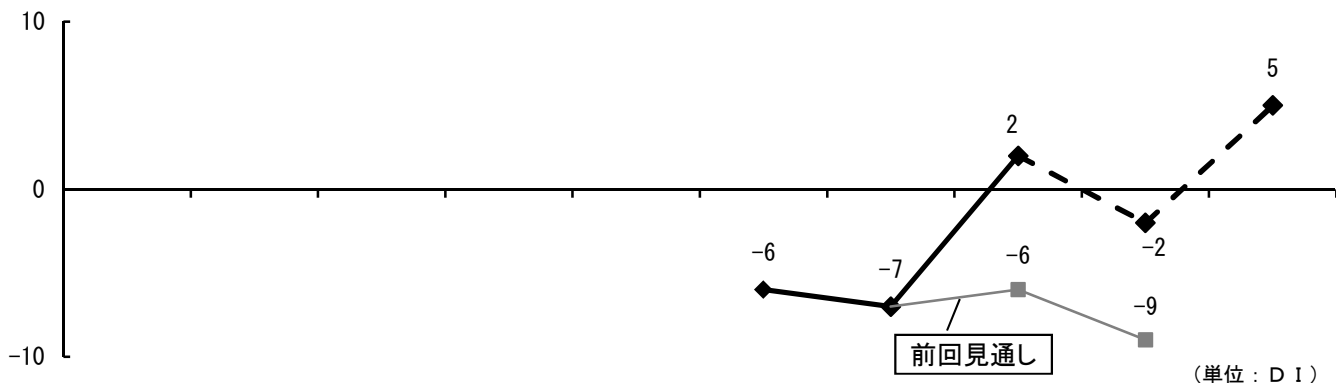
- ・FIT化の加速、MICE需要の増加 (第1種/総合旅行会社/良い)
- ・東南アジア中心に北陸や九州エリア訪問客数が増えている。(第1種/訪日旅行系旅行会社)
- ・観光プラス体験が好まれるように感じる。(第1種/リテラー2)

3ヵ月後、6ヵ月後の見通し 北海道は9ポイント増の回復で推移。

- ・中国からの旅行者が主だが、リピーターが増えてきている(第3種/リテラー1)
- ・台湾方面からの旅行が増えている。中国方面からの旅行が低調である。(第1種/総合旅行会社)
- ・北陸人気がの高まりで、特に欧米圏が増えている。(第1種/リテラー2)

N:有効回答数
(N=141)

(単位:DI)



2年前 (4~6月)	1年半前 (10~12月)	1年 3ヶ月前 (1~3月)	1年前 (4~6月)	9ヶ月前 (7~9月)	6ヶ月前 (10~12月)	3ヶ月前 (1~3月)	現況 (4~6月)	3ヶ月後 (7~9月)	6ヶ月後 (10~12月)
-	-	-	-	-	-6	-7	2 ※-6	-2 ※-9	5

※2017年3月期調査見通し数値

	1年半前 (10~12月)	1年 3ヶ月前 (1~3月)	1年前 (4~6月)	9ヶ月前 (7~9月)	6ヶ月前 (10~12月)	3ヶ月前 (1~3月)	現況 (4~6月)	3ヶ月後 (7~9月)	6ヶ月後 (10~12月)
総合旅行会社	-	-	-	-	7	16	30	11	19
リテラー1	-	-	-	-	-18	-12	18	9	27
リテラー2	-	-	-	-	-10	-21	-3	0	-3
インハウス	-	-	-	-	0	-25	5	-11	0
ネット系旅行会社	-	-	-	-	25	100	-34	0	0
訪日旅行系旅行会社	-	-	-	-	-13	-10	-11	-6	3

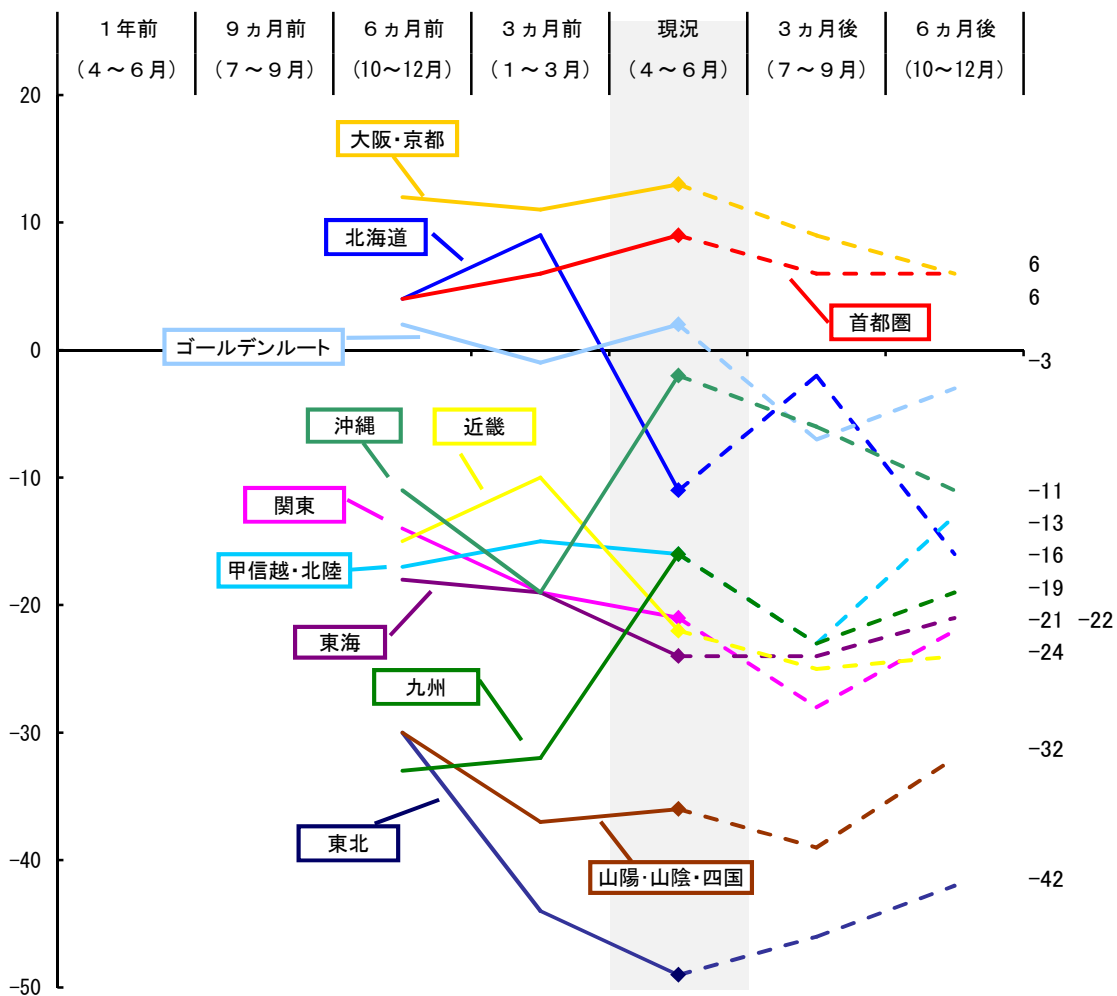
◆訪日旅行の需要動向（方面別）

現況は、沖縄は17ポイント増で上昇しマイナス2、九州も16ポイント増で上昇しマイナス16へ前期より回復。
 北海道は20ポイント減と大幅に下落しプラスからマイナスへ。
 3か月後は、北海道は9ポイント増で回復を推移。東北は3ポイント増で緩やかに回復。
 上位の大阪・京都は4ポイント減、首都圏も3ポイント減で緩やかに下落。

- 現況は3カ月前（1～3月）に比べ、沖縄は17ポイント増、九州は16ポイント増で大きく上昇。上位の首都圏は3ポイント増、大阪・京都は2ポイント増のプラスで維持。ゴールデンルートは1ポイント増、山陽・山陰・四国は1ポイント増で大きな変動なく維持。前回は上位であった北海道は20ポイント減で下落しプラスからマイナスへ移行。近畿は12ポイント減で下落し、東北は5ポイント減、東海も5ポイント減でともに緩やかに下落。関東は2ポイント減、甲信越・北陸は1ポイント減で下降傾向。
- 3か月後（7～9月）は、北海道は9ポイント増で回復を推移。東北は3ポイント増で緩やかに回復。東海は横ばいで推移。上位の大阪・京都は4ポイント減、首都圏も3ポイント減で緩やかに下落。ゴールデンルートは9ポイント減、関東は7ポイント減、甲信越・北陸は7ポイント減、九州は7ポイント減、沖縄は4ポイント減、近畿は3ポイント減、山陽・山陰・四国は3ポイント減で下落傾向を推移。

（単位：D I）

N:有効回答数
(N=141)



（単位：D I）

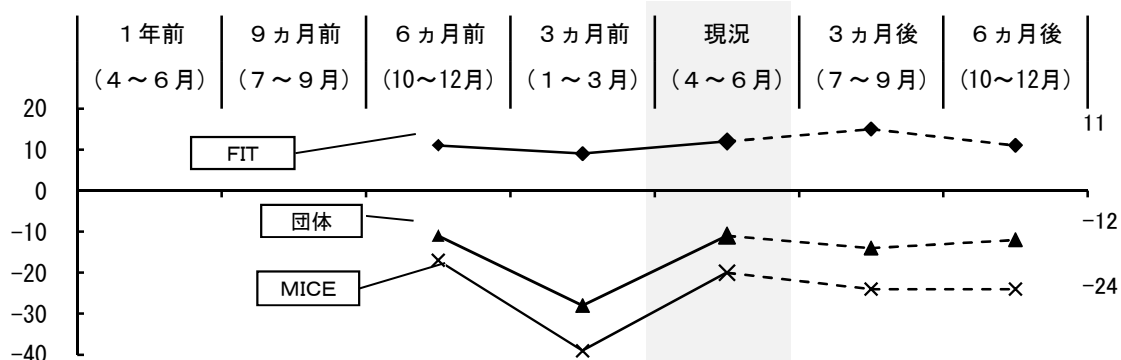
	1年前 (4～6月)	9カ月前 (7～9月)	6カ月前 (10～12月)	3カ月前 (1～3月)	現況 (4～6月)	3カ月後 (7～9月)	6カ月後 (10～12月)
北海道	-	-	4	9	-11	-2	-16
東北	-	-	-30	-44	-49	-46	-42
関東	-	-	-14	-19	-21	-28	-22
ゴールデンルート(関東⇄関西)	-	-	2	-1	2	-7	-3
首都圏(TDR含む)	-	-	4	6	9	6	6
甲信越・北陸	-	-	-17	-15	-16	-23	-13
東海	-	-	-18	-19	-24	-24	-21
大阪・京都(USJ含む)	-	-	12	11	13	9	6
近畿	-	-	-15	-10	-22	-25	-24
山陽・山陰・四国	-	-	-30	-37	-36	-39	-32
九州	-	-	-33	-32	-16	-23	-19
沖縄	-	-	-11	-19	-2	-6	-11

◆訪日旅行の需要動向（顧客種別）

- ・ 現況は3ヵ月前（1～3月）に比べ、全体的に上昇傾向。MICEは19ポイント増、団体は17ポイント増で前期より回復。またFITは3ポイント増の上位で維持。
- ・ 3ヵ月後（7～9月）は、FITは3ポイント増の上位で維持、MICEは4ポイント減、団体は3ポイント減で緩やかに下降。

N:有効回答数
(N=141)

(単位: D I)



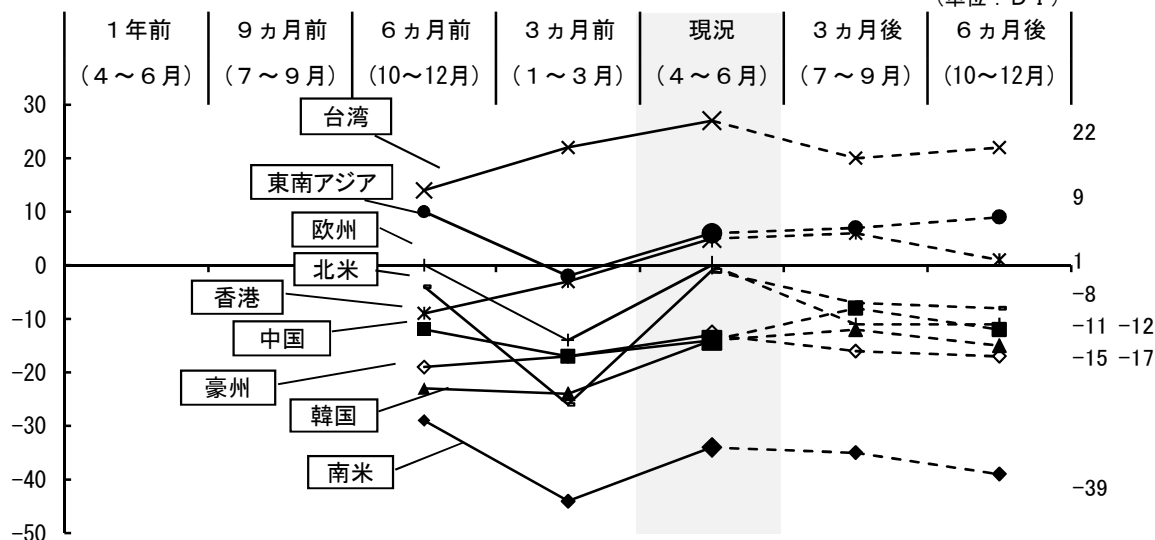
	1年前 (4~6月)	9ヵ月前 (7~9月)	6ヵ月前 (10~12月)	3ヵ月前 (1~3月)	現況 (4~6月)	3ヵ月後 (7~9月)	6ヵ月後 (10~12月)
FIT	-	-	11	9	12	15	11
団体	-	-	-11	-28	-11	-14	-12
MICE	-	-	-17	-39	-20	-24	-24

◆訪日旅行の需要動向（出身国別）

- ・ 現況は3ヵ月前（1～3月）に比べ、全体的に上昇傾向で、上位の台湾は5ポイント増でプラス27へ。東南アジアは8ポイント増、香港は8ポイント増とともにマイナスからプラスへ上昇。北米は25ポイント増で大きく回復しているのが目立つ。続いて欧州は14ポイント増、南米は10ポイント増、韓国は10ポイント増、中国は3ポイント増、豪州も4ポイント増で回復傾向
- ・ 3ヵ月後（7～9月）は、台湾は上位ではあるが7ポイント減で下落。東南アジアは1ポイント増、香港も1ポイント増のプラスで維持。中国は6ポイント増、韓国は2ポイント増とともに回復傾向。欧州11ポイント減、北米6ポイント減、豪州3ポイント減、南米1ポイント減と下落を推移。

N:有効回答数
(N=141)

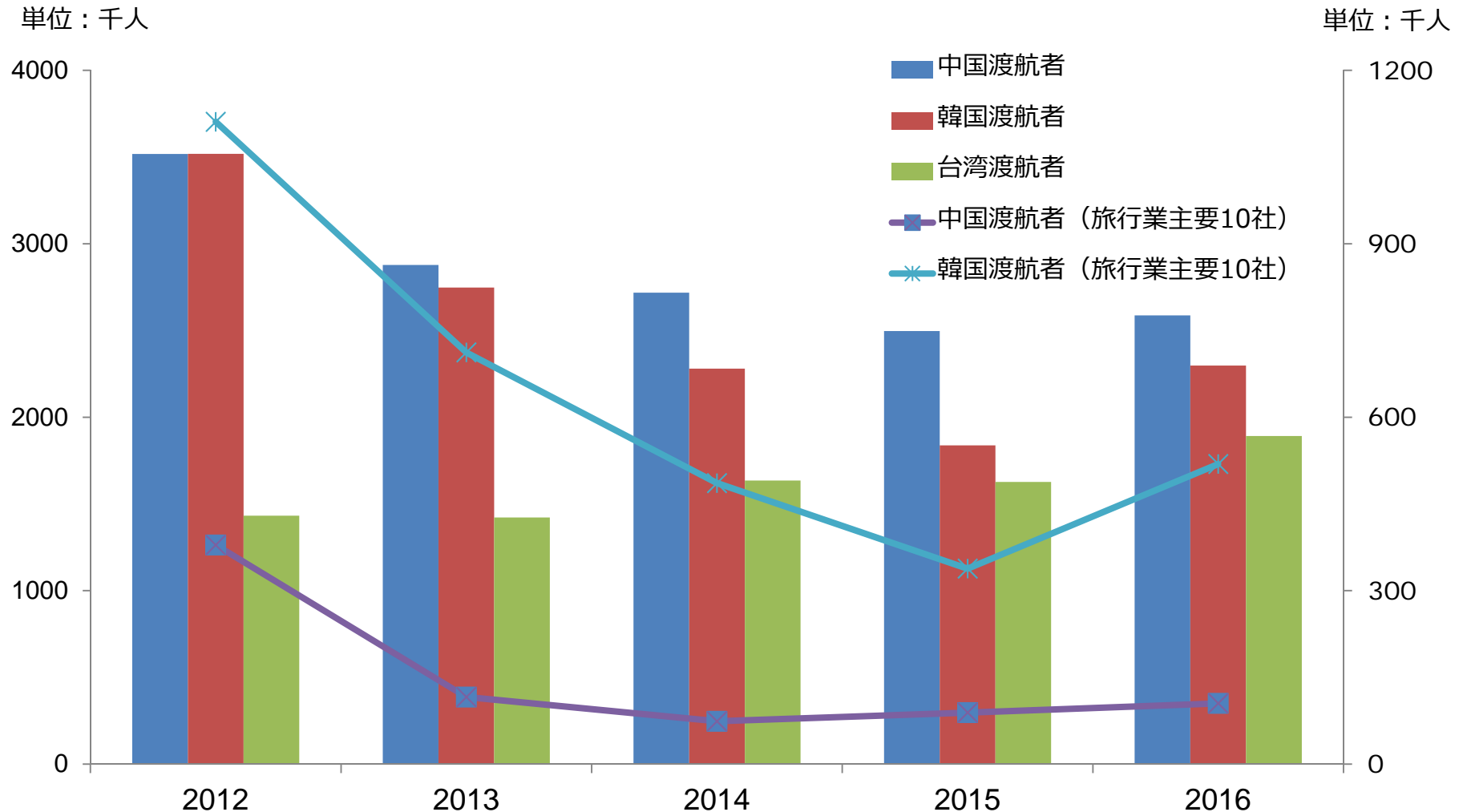
(単位: D I)



	1年前 (4~6月)	9ヵ月前 (7~9月)	6ヵ月前 (10~12月)	3ヵ月前 (1~3月)	現況 (4~6月)	3ヵ月後 (7~9月)	6ヵ月後 (10~12月)
中国	-	-	-12	-17	-14	-8	-12
韓国	-	-	-23	-24	-14	-12	-15
台湾	-	-	14	22	27	20	22
香港	-	-	-9	-3	5	6	1
東南アジア	-	-	10	-2	6	7	9
欧州	-	-	0	-14	0	-11	-11
北米	-	-	-4	-26	-1	-7	-8
南米	-	-	-29	-44	-34	-35	-39
豪州	-	-	-19	-17	-13	-16	-17

回復傾向にある中国、韓国への旅行者数

✓ 政治問題により減少傾向だった日本人旅行者は回復傾向に



出所：中国国家観光局、韓国観光公社、JATA主要10社データ（企画旅行取扱人数）